

法遍寺 から大切な 皆様へ

2018年1月1日

日蓮正宗 年間方針

行動の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成

勇猛果敢の折伏

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏達成

功德の源泉

② みんなで声かけ御講参詣

罪障消滅と

折伏成就

③ 支部総登山で育成推進

心身浄化と

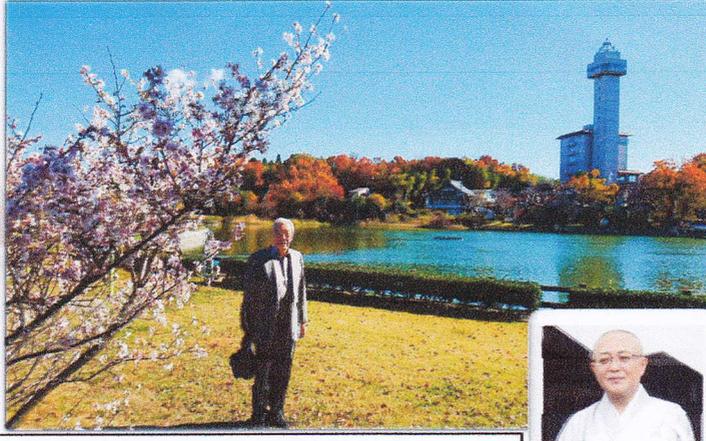
功德无量

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料



2017年12月29日:お寺の門松作り、12月2日:折伏活動の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となつて、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

日蓮大聖人は安国論御勤(ごかん)由来の冒頭に「凶悪が増す世間の体(姿)と一切経を照らし合わせると、道理と文証が明確に顕われた。故に止まることなく勤文書をしたため、これを立正安国論と名づけた」(趣意・367頁)と仰せです。当時の「世間の体」とは大地震や疫病、そして朝廷と幕府の争いなど内紛が絶えない世相のことです。現今の日本も世界も、大聖人の当時と変わりなく「危機の時代」であることは疑いありません。大聖人は世相全体を覆う暗雲の一切の源が邪宗教であることを我々に見知らしめるため安国論をしたためられました。国の乱れ、民の乱れ、家庭の乱れ、一個人の乱れ、不幸の根源は謗法です。大聖人の大慈悲心を受け止め、御本尊への絶対の信心に住すれば、折伏を常に忘れず、広宣流布に勤める人として成長します。人々をこの信心に導くこと、これが我々の使命です。折伏のために大いに悩み、そして努めましょう。

② 創価学会のみなさまへ

戸田第2代会長は「良き法と、良き師と、良き檀那との三つがそろわなければだめなのです。南無妙法蓮華経、これは良き法に決まっている。大御本尊様は良き法なのです。(中略)御法主上人猥下をとおして大御本尊を拝しますれば、かならず功德がでてくる。ただ良き檀那として、その代表として、その位置にすわれたことを、私はひじょうに光榮とするものであります」(戸田城聖全集4-399頁)と述べています。過去に学会員が功德を得てきたのは「御本尊のおかげ」「正しい仏法のおかげ」であり、「学会のおかげ」ではないのです。創価学会員が、日蓮正宗の正しい信心ができなかったのは、「池田先生のおかげ」を優先させたからなのです。

③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

最近、「うつ」の本質・原因は、なんと「いかり(怒り)」にあることが分かってきました。人生の違い、発症にいたる時間の差こそあれ、うつの中には「いかり」が蓄積、固定されている、というのです。仏法では「無明」という不幸の原因となる煩惱を説きます。これは誰の生命にも内在しています。正しい仏法は十界の生命論に裏打ちされた絶対なる法理を説きます。固定された不幸の境界を動かし、幸福な心身として変われることを説くのです。仏の慈悲は人を救い善導するところにあります。日蓮正宗の教えを知ることは、真実の幸福をもたらす教えを知ることです。どなたでもこの仏道を修行すれば、そこに幸福と成仏を味わっていただけます。一歩進んで法遍寺においで下さい。信仰することは、あなたを救済し、あなたの人生を変えていくのです。